011094_左大腿骨近位端骨折観血的整復術

ステップ名称	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	ステップ5		ステップ6		ステップ7		
	1日前	基準日			1日後	2日後～4日後	5日後	6日後	7日後～11日後	12日後～14日後	15日後～18日後	19日後～20日後	21日後
		術前	術中	術後									
到達目標	手術に対する心身の準備ができる		合併症なく退室できる	合併症なく経過する		創痛がコントロールできる	介助で車いすに移乗ができる		車いすでの生活が安全に送れる		退院に向けたリハビリが実施できる		
							創痛がコントロールできる						
処置	14時ごろ浣腸をします	手術前に弾性ストッキングを着用します	手術室で点滴やおしっこの管などが入ります	心電図モニターをつけます	心電図モニターをはずします		おしっこの管を抜きます	傷の消毒をします	8日後傷の消毒をします	13日後傷の消毒をします			急性期病棟から退院・転院または転棟します
	弾性ストッキングのサイズを測ります	手術着に着替えます			傷の消毒をします		おしっこの管を抜いた後に排尿の確認をします			13日後抜糸をします			
	リハビリテーション科の診察があります	手術側にしるしを付けます											
		手術する側のしるしを確認します											
検査			手術中にレントゲンを撮ります		血液検査があります				7日後レントゲンがあります	14日後血液検査があります			
									7日後血液検査があります				
体温・呼吸・循環	入院時に体温、脈拍などをはかります	手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	6時　10時　14時 19時ごろに体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります
	身長、体重をはかります												
注射				持続点滴中です 抗菌薬の点滴を行ないます	終了後点滴を抜きます								
					抗菌薬の点滴を行います								
投薬	持参薬があればお知らせください 入院後の内服薬の服用について説明があります	6時に少量の水で指示の持参薬を服用します			朝から鎮痛剤などを6日間服用します								
清潔・排泄	シャワー又は全身清拭、洗髪、手浴、足浴、爪切りをします	手術開始30分前に排尿を済ませます			身体を拭きます 陰部を洗います	陰部を洗います	身体を拭きます 陰部を洗います	創部がフィルム剤になればシャワー浴ができます（適宜行います）	8日後シャワー浴を適宜行います	12日後シャワー浴を適宜行います	シャワー浴を適宜行います	シャワー浴を適宜行います	退院後、入浴できます
	排便の確認をします												
食事	夕食後から絶食です お茶・お水は飲めます	朝から絶食です。 朝7時以降水分は取れません		帰室6時間後に指示で飲水ができます	朝から普通食です								退院後、制限はありません
活動・安静度	ベッド上で安静にします	手術室へはベットで行きます		ベッド上で安静にします	リハビリが始まります	2日後、3日後にリハビリがあります	リハビリがあります	リハビリがあります	7日後から10日後にリハビリがあります	リハビリがあります	15日後から17日後リハビリがあります	リハビリがあります	リハビリがあります
					介助にて車いすへ移乗できます								退院後、重労働やスポーツは医師の許可があるまでできません
教育・指導・説明・リハビリ	主治医から手術について説明があります		家族の方は手術待合室でお待ちください	家族の方に手術結果について説明があります						12日後理学療法士からリハビリ計画書について説明があります			
	薬剤師から薬について説明があります												
	看護師から手術について説明があります												
	特別な栄養管理の必要性（有）												
書類	入院診療計画書を渡します												
	手術同意書　麻酔同意書 輸血同意書を看護師に提出してください												
手術													